



4/12

## 道の駅神林 穂波の里がリニューアル！

### 情報ステーションでは神林地域のPR動画も公開（道の駅神林）

新しくなった建物内の情報ステーションでは、市内外の観光情報を多く提供しており、ステーション内で公開されているPR動画では、自然豊かな神林地域を分かりやすく紹介しています。コロナ禍でなかなか外に出歩けない状況ですが、この機会に地域のスポットに目を向け、自然と触れ合ってみてはいかがでしょうか。

また、この穂波の里は、市内外から多くの人々が訪れ好評をいただいている道の駅です。更に交流を増やし経済活性化を目指しながら、人口減少や一次産業の担い手不足などの地域課題の解消を図ります。



▲新たに建設された情報ステーション

4/12

## 登山シーズンが始まる前に登山道の安全点検

### 標高555mの山「日本国」登山道整備作業（小俣集落）



▲悪天候の中、倒木を伐採

登山シーズンが始まるのを前に、地元小俣集落の住民有志が組織する「日本国を愛する会」による登山道整備作業が行われました。

当日は、時折雨まじりの強風が吹き荒れる中、雪害で倒れた木の伐採や腐食した木製階段の入れ替え作業などを行い、まだ賑わいを見せる前の山中にチェーンソーの音が響き渡りました。

新型コロナウイルス感染症の影響により、毎年5月5日に行われる山開きイベントは行われませんでした。が、「日本国を愛する会」では、登山者が安心安全に日本国登山を楽しんでいただくために、雪が降り始める11月下旬まで定期的に点検・整備作業を行うそうです。

4/28

## 〴親子船、新造、祝福の拍手に包まれた桑川漁港

### 新造船の進水式（桑川漁港）

5トン以上の漁船として、山北地域内では約30年ぶりとなる新造船の進水式が行われ、船が港に着岸した会場の桑川漁港は祝福の拍手に包まれていました。

今回、船を新造したのは、桑川漁港を拠点に操業する漁師の本間英樹さん（浜新保）。以前の船の老朽化と、高校在学中の息子さんが「卒業後は一緒に船に乗りたい」と言ってくれたことが決め手となったそうです。

本間さんは「この新しい船で近い将来、親子二人で漁に出ることを楽しみにしています」と語ってくれました。



▲地元の人や関係者が見守る中、無事着岸した9.6トンの新造船

4/30

## 有事に備えた連携を確認

### 市消防本部と県消防防災航空隊による消火連携訓練（山辺里地内ドクターヘリ離着陸場）



▲鍛えられた技術の連携を見せる隊員たち

三面川付近の林野火災を想定した消火訓練が、市消防本部と県消防防災航空隊の連携のもと行われました。

消火バケツを装着した防災ヘリ「はくちょう」に消防車から給水を行い、延焼拡大が予想される区域に散水すること3回。また、三面川を低空でホバリングし、直接自給水しての散水も行われました。

鎮圧後の情報伝達まで一貫して行われた今回の訓練を受け、田中消防署長は「林野火災発生時の手順は両者で確認できた。その前に火災を起こさないことが大事。火を取り扱う際は十分に気を付けてほしい」と話し、火災のみならず、これから迎える出水期にも備えてほしいと語っていました。

5/1

**家族連れで大賑わい****荒島わらび園が2年ぶりのオープン（荒島わらび園）**

▲連日、賑わいを見せたわらび園

荒島わらび園は、高坪山山麓に位置し、周辺地域よりもわらびの生育が早いという事で、市内外から多くの人々が来園します。昨年は、新型コロナウイルス感染症の感染防止のため開園することができませんでしたが、今年は2年ぶりにオープンすることができました。

オープン日には、この日を待ち望んだ約90人のお客さんが駆けつけ、わらび採りを楽しみました。

荒島わらび会の大沼会長（荒島）は、「今年は、2年ぶりに開園することができ、こんなに大勢のお客さんが遊びにきてくれた事が本当に嬉しい。山焼きなど、これまで山の整備を行ってきた苦勞が報われました」と話していました。

5/10

**郷土の自然の中、協力してゴールを目指す****クイズラリーをしながらお幕場遠足（平林小学校）**

平林小学校のグラウンドは「お幕場森林公園」に接しており、この学校に通う1～3年生61人が、美しい赤松林が広がるこの公園を歩く遠足を行いました。

爽やかな青空の下、子どもたちは各学年が入り混じった縦割り班に分かれ、松林の中でクイズラリーを行い、休憩を取りながら岩船港を目指して歩きました。ゴールの岩船港湾緑地では班対抗ドッジボールなども行い、楽しく充実した活動となりました。

この遠足は、子どもたちに郷土の良さに気付いてもらうことを目的にしており、学年の違う子どもたちが協力し合う大切さも育まれました。



▲力を合わせてクイズの答えを考える子どもたち

5/11

**秋に美味しいお米を収穫するぞ！****全校児童みんなでお米植え体験（金屋小学校）**

▲泥に足を取られ、悪戦苦闘

金屋小学校の学校田で、全校児童と地域ボランティアの皆さんが、お米植えを行いました。

今年のお米植え作業は、5年生が中心となり、まずは地元農家の人と一緒に田植え枠を転がして、苗を植える目印をつける作業を行いました。その後、全員で田んぼに入り、地域の人からアドバイスをもらいながら、ていねいに苗を植えていきました。

田んぼに生息するカエルやアメンボに驚いたり、ぬかるみに足を取られて尻もちをつく児童もいましたが、笑顔あふれるお米植え体験となりました。

5/11～6/29

**故郷をテーマにした「祈り」の数々****板垣匠作品展（市文化会館）**

故郷をテーマにした作品を多く手掛ける画家、<sup>いたがきたくみ</sup>板垣匠さん（緑町三丁目）の個展が、市文化会館で開催されています。

板垣さんの画法には特徴があり、目の粗い麻布を木に貼り、その上に砂とアクリル樹脂を混ぜた下地に描かれており、日本の漆喰やヨーロッパの壁画などを参考にしています。

展示作品の中でも、見どころは「<sup>ちいあひ</sup>千五百秋」を対称にした作品。千五百秋とは、悠久に近い言葉で、長い時間のような意味があり、板垣さんは「自然や人の営みに祝福と祈りを捧げている絵を描きたかった」と語ってくれました。

絵には解説をつけておらず、自由に見て欲しいとのこと。郷土への独特な視点と、表現力あふれる作品をぜひご覧ください。



▲村上にまつわる作品を多数展示